



aru
Tochigi City Real Visual Magazine

この冊子に関するお問い合わせ／栃木市 総合政策部 シティプロモーション課
〒328-8686 栃木市万町9-25 電話：0282-21-2315



aru

Tochigi City Real Visual Magazine

わたしたし
この街。

この街。

わたし

と、

おなじ街で暮らしていても、自分と誰かの目に映る街は、きっと少し違う。いつもの道、はじめていった場所、誰かと経験したこと。記憶は街のあちこちに深く刻まれている。どこにでもありそうで無い、わたしとこの街だけのワンシーンが“ある”。

WHAT'S "aru" ?

“aru”って？
 自然、歴史、文化、安心できる生活。栃木市には、ゆるやかに流れる時間の中で育まれてきた、たくさんの魅力があります。“aru”は、そんな栃木市に“ある”いろいろな魅力を再発見してもらうために生まれた、Real Visual Magazineです。

SCHOOL DAYS

スクールデイズ
 03 今日も、ここから。
 05 あの教室へつながる道
 07 アオハルな日々
 09 放課後 @場所いろいろ

OLD AND NEW

この街でいちばん温かい場所へ。
 11 玉川の湯(金魚湯)
 15 金魚湯ランプ
 16 こうしんの店

TAKE LIFE EASY

テイク ライフ イージー
 19 自家焙煎 キャリオカコーヒー
 20 イナバミュージック

SPECIAL!

面白特集してみた
 21 はじめてのタビオカ。 @Eight Cranes / BPLJ
 25 高校生ギャラリイ
 27 登って参って降りる @磯山

OTHER

他にもいろいろ
 29 わたし「と」とち介。
 31 クチコミで知る栃木市
 33 栃木市ふるさと大使
 35 取材レポート・編集後記

SCHOOL

改札口ご利用の際は
こちらのボタンを
押して下さい。

今日も、ここから。

07:24 AM

改札から聞こえる軽い電子音。

制服とスーツがまざりあって、人がながれ出てくる。

バス停にならぶ人たち。息をはずませ、ペダルをこぐ人たち。

いつも待ち合わせている人たち。

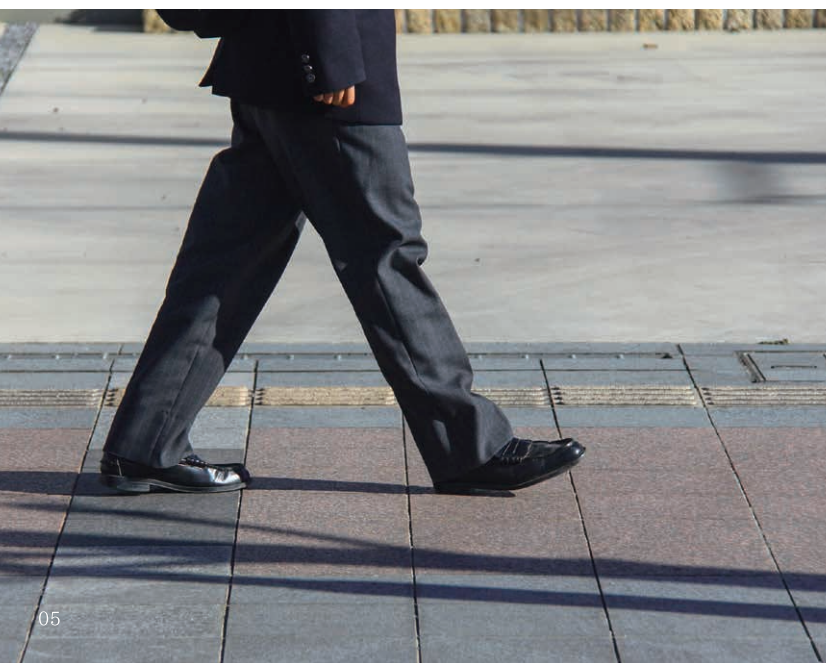
名前は知らないけど、よく見る顔ばかり。

決まった時間に、決まった場所へ。みんなが進みはじめる。

今日も、ここから街がうごきだした。

さあわたしと、この街の1日がはじまる。

DAYS



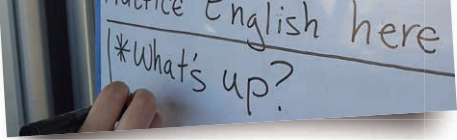
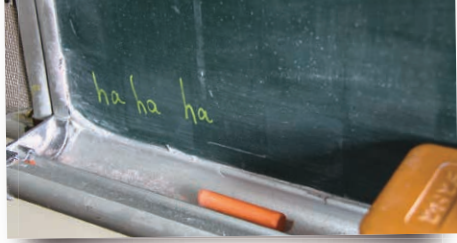
S
C
H
O
O
L
D
A
Y
S
「いつも通り」は、あの教室につながっている。

この道をまっすぐ進んで
3回かどを曲がれば、
いつもの校舎が遠くに見える。
今日までこの道を、何日、何時間、
何往復したかわからない。
近道なんて知らない。
この街にある片道たった数分の
「いつも通り」は
あの教室につながっている。
そして馴染みのある
「おはよう」が聞こえてくる。

春が来るたび、ペダルが軽くなっていく。

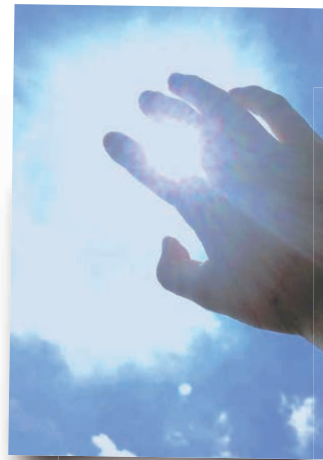


田畑にかこまれた道をペダルでこぐ。
遅刻しそうになった春の朝。
突然のスクールが髪を濡らした夏。
稲の焦げたにおいが、秋を教えてくれる。
はなの奥までツンと刺すような冬の空気。
お世辞にも「都会」とは言えない街でわたしたちは、
季節と一緒に走っている。



School Days

青春が終わるときも、チャイムは鳴りますか？





第二公園
 栃木市旭町26
 0282-21-2413



ニューときた
 栃木市室町2-36
 0282-24-9227



時間割にはない、
 ボクたちと
 ワタシたちだけの時間。

#放課後

最後のチャイムが鳴り終わり、ほんの少しの自由を手にして夕焼け前の街へ。近ごろ流行りのタピオカとか、定食がおいしい老舗店とか。古いモノも新しいモノも大切にしているのが、この街のおもしろいところかも。1人で楽しむのもいいけど、やっぱり放課後は、キミがないと静かで困るね。



a.みつわ通りで友達と歩きながら、いつものたわいもないおしゃべり。
 b.d.小さな頃からずっとある第二公園で、小さな頃と同じように思いっきり遊んでみたりもする。c.サザンカの花びらがたくさん落ちてたのは瀬戸河原公園。思わず集めたくなるよね。e.f.イトクレインズでタビるのが、今の定番コース。g.i.j.ボリュームたっぷりて格安のニューときたとはもう、常連並みのおつきあい。h.銀座通りの古い街並みが、最近結構オシャレなことに気づいた。k.うずま公園にて。「カレカノっぽい写真撮る!」「いいよ」「じゃ、おんぶね!」「えええ!」

Eight Cranes

栃木市万町9-32 五番蔵
 080-2012-4820
<https://ja-jp.facebook.com/EightCranes/>
 ※Facebook



OLD

この街でいちばん温かい場所へ。

AND

「ミツ通り共栄会」と書かれた古びたアーチの向こうには夕焼けに映える商店街がつづく。そこから空にスッと伸びた1本の煙突と、木製のとびらに描かれた2匹の金魚が目印。銭湯「玉川の湯（通称：金魚湯）」は明治22年の創業以来この街に凜と佇み、清々しい顔で暖簾をくぐる人たちを迎えてくれる。さてさて、今日もひとつ風呂。

NEW

日替り湯
牛乳湯
ワイン湯
アロエ湯
ジャスミン湯
薬草湯
森林浴湯

金魚湯

駐車場は裏にあります



いつもより
深いところで
会いましょう。

湯気が悠々とのぼるタイル張りの高い天井。
壁の水槽でチラチラと泳ぐ金魚たち。
すこし熱めのお湯に肩まで浸かり足をのばすと、
カラダの奥からもれた息と声が天井に
反響して広がっていった。
まわりを見れば、子どもも年寄りも満足げな
表情をしている。
ちがう時代を生きてきたはずなのに、
同じお湯に浸かっているだけで、なんだか
仲よくなれそう。そんな気さえしてくる。
銭湯は今も昔も変わらず皆が
ココロもカラダも裸になれる。
ここは、いつもより深いところで、
だれかとお会える場所。

OLD AND NEW

温度を通した
会話が、
人をあたためる。

ここのお湯は、
いまでも薪で沸かした井戸水。
外のボイラーでは今日も店の主が
「くしゃみなんてしてないだろうか」
と耳を澄ましなが
静かに薪をくべている。
熱めが好きな人はそのまま。
ぬるめが好きな人は水で埋めてもいい。
「ちょっと熱いね」「いい湯加減だった」
そんな言葉からはじまる交流が、ここにはある。
手間も時間もかかることほど
本当に大切なことなのかもしれない。
だからこそその先も、
釜の炎が絶えることは無いだろう。



玉川の湯(金魚湯)
栃木市室町3-14
0282-22-1865





変わるもの「と」、変わらないもの。

銭湯の2階には、店主の趣味から生まれたスケートボード場（通称：ランプ）がある。ひと昔前は宴会場として地元民の社交場となっていた。その姿は大きく変わったが、今ではスケートボードを通じて子どもから大人まで盛んな交流が行われる場所になった。「誰もが平等にスケートボードを楽しめる場所を」そんな店主の

純粋な気持ちが、人と人をつないでいる。ひと滑り楽しむと、やっぱりお腹が減る。建物の裏手にある「こうしんの店」で、じゃがいも入り焼きそばを買うのが定番。昭和52年の開店以来守り続けている味は、どこか懐かしく口に馴染む。遊んで、食べて、風呂に入る。帰るときの全身をつつむ満足感が心地よい。



金魚湯ランプ(玉川の湯2F)
栃木市室町3-14 0282-22-1865



こうしんの店
栃木市室町3-14 0282-23-4264

TAKKE

LIFE

EASY

好きなことをして、
誰かと笑っていただけるんだから、
歳を重ねるのもわるくないよ。



コーヒーとおしゃべり。



大通りの1本裏道にある、ターコイズグリーンのとびらを開くと

「いらっしゃい」の音がコーヒーの香りによって届く。

マスターの名前がついた「平八郎ブレンド」を飲んでいると

「ゆっくりしていきなさいよ」と、カウンター越しに気さくに声をかけてくれた。

マスターのバイクの話や身の上話に花が咲く。

気がつけばひとりの寂しさが、コーヒーに注いだミルクと一緒に

渦をまいて溶けていた。



自家焙煎
キャリオカコーヒー

栃木市倭町9-11
0282-23-2232
<https://ja-jp.facebook.com/carioca.coffee.tochigi/>
※Facebook



創業昭和四十七年
自家焙煎
平八郎
風味佳良
ブレンド
栃木市キャリオカコーヒー謹製
スペシャルブレンド珈琲



好きと生きる、これからも。

演歌を歌って
元気な毎日

昔から手先が器用で、演歌好き。
「120歳までこの仕事をつづけたいな」
そう話す店主の顔が、
夢を持つ青年のように笑っていた。

きれいに並んだ演歌のCDジャケット。
大小さまざまなオーディオ機器。
「イナバミュージック」は
CDとオーディオ機器の販売・修理を
約55年前からし続けている。

イナバミュージック
栃木市箱森町5-7 0282-23-0075

First Tapioca!

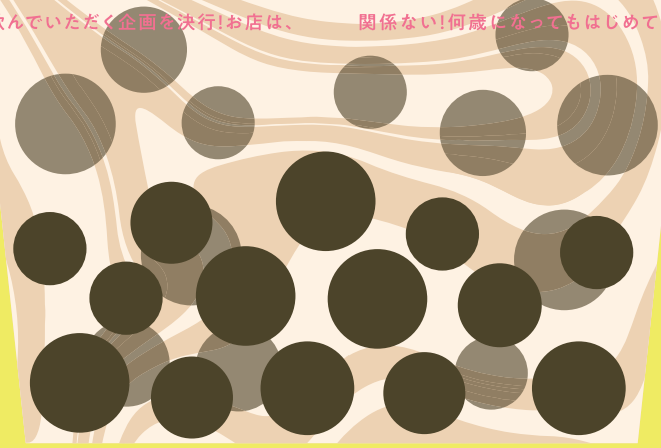
キャリアオカコーヒー店主
@
エイトクレインズ

老舗
と、
新店。

はじめてのタピオカ。

若者を中心に流行しているタピオカ。栃木市にも数年前から販売するお店が増えている。「The若者の飲み物」というイメージ。だが、ここは歴史と伝統を守りながら新しい文化を取り入れている街!ならば、シニアの方にも新しい文化(タピオカ)を体験していただくのではないかと。ということで、キャリアオカコーヒーのマスターである藤沼平八郎さん(86)に人生初のタピオカを飲んでいただく企画を決行!お店は、

栃木を中心にオーガニックのトルティーヤを使用したナチョスなどをキッチンカーで移動販売している「Eight Cranes (エイトクレインズ)」。数種類のタピオカからミルクティータピオカをチョイス。コーヒーひとすじの平八郎さんの口はどう感じるのか!おそろおそろ口にすると・・・「おいしいねえ(笑)」とニコリ!流行りやおいしいものを楽しむことに年齢なんて関係ない!何歳になってもはじめての体験は楽しいのです!



First Tapioca!

86歳、
人生最初の
「タピる」

First Tapivoca!

First Tapivoca!



a.平八郎さん「タピオカをちょうだい」 b.エイトクレインズを切り盛りする、飯野理衣さんのとびきりのスマイル。 c.「おいしいねえ(笑)」の瞬間をパチリ。 d.綺麗な色、いろんなフレーバーがボトル内で混ざり込む。 e.タピオカドリンクのほかにも、パンチが効いたボリュームーなメニューがいっぱい。 f.「BPLJ」のサブエントランス。外観もおしゃれ。 g.h.さりげない一角にも個性が光る店内と、看板犬「まめ」(女の子)。

Eight Cranes

栃木市万町9-32 五番蔵 080-2012-4820
<https://ja-jp.facebook.com/EightCranes/> ※Facebook



BPLJ

栃木市万町9-32 五番蔵 080-5539-6969
<https://www.bpljbpj.com>



BPLJ

タピオカを手に、Eight Cranesとおなじ敷地内にあるアパレルショップ「BPLJ」へ。ここではニューヨークでデザイナーとして活動していた店主の飯野亮さんが、築100年の蔵でシルクスクリーンを使用した洋服や小物を制作・販売している。看板犬の柴犬「まめ」が出迎えてくれる店内はヴィンテージな雰囲気がシブい。

それぞれの「今」

USUAL

写真を撮る理由とか
意味を聞かれるとすこし困ってしまう。
無理に言葉にしまうと、
ちやちやになってしまいそうだから。
ただ、愛しいとおもった瞬間にシャッターをきる。
ボタンを押した1秒後にはもう存在しない。

二度と出会うことのない
「今」をつかまえない。

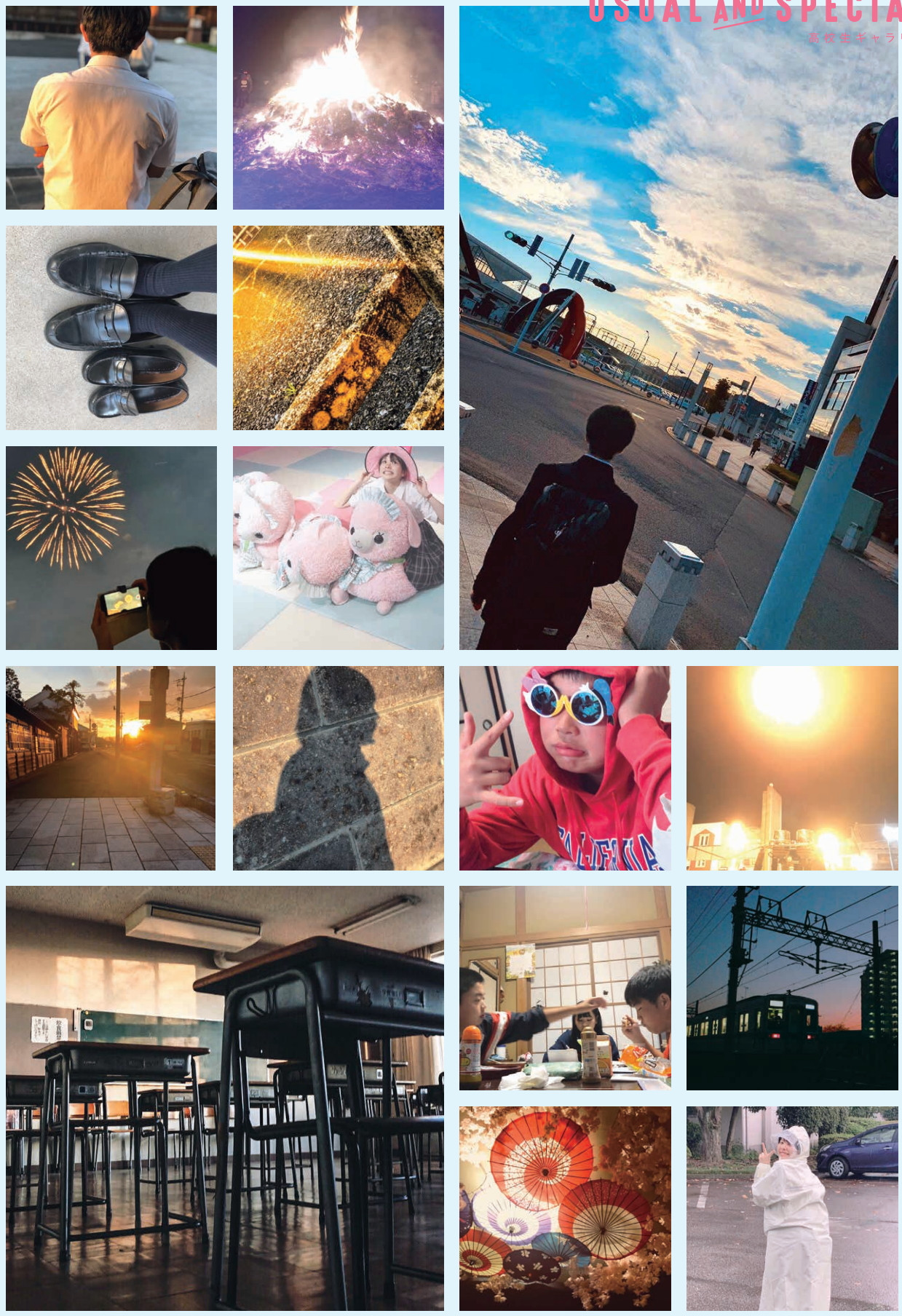
AND



SPECIAL

私たちが撮る世界

USUAL AND SPECIAL
高校のギャラリー





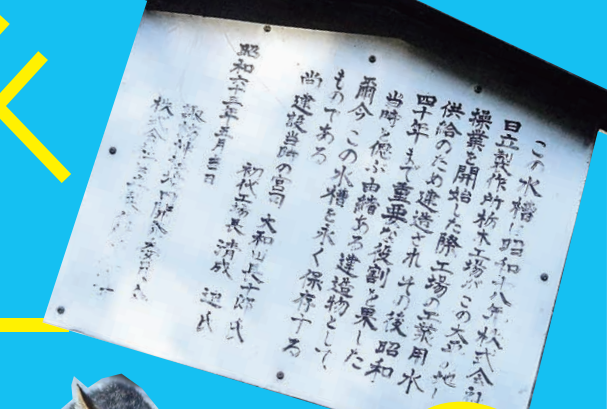
さあ、出発。

登



A 返ってこない、「ヤッホー」。

山道を道なりにすすむと前方に巨大な建造物が見えてくる。若干消えかけた立て札によると、戦前に日立製作所が工業用水供給のために使用したコンクリート製の水槽らしい。その水槽の左手奥に、ゴツゴツした岩がいくつかある。公園の築山くらいの大きさの岩もある。ここが山頂のようだ。ここまでの時間約9分。ついに栃木県最低の山「磯山」を制覇した。山頂からは、緑豊かな大平町を見渡すことができる。うん、わるくない。そして山の頂上と言えは忘れていけない儀式がある。そう、「ヤッホー」だ。選んだ空気を吸い込み腹から声を放つ。しかし、待てど暮らせど、それが返ってくることはなかった。



登山前にいきなり一期一会



B 奇怪な岩のある神社、現る。

山頂から南側へくだっていくと、建物の裏手にでた。正面にまわる。ここは、「諏訪神社」というようだ。神社の階段から見下ろすと、参道がスツとのびるように続いていて美しい。ここを下っていくことしよう。後日調べてみると、諏訪神社では「天狗岩」「御竜岩」「亀ノ子岩」と呼ばれる、奇怪な形をした岩を祀っているようだ。あの時見た岩がそうだったのか。中でも天狗岩には「天狗の足跡」と言われている凹みがあるらしい。また登山して、この目で確かめなければ。



諏訪神社(真弓磯山神社)
大平町真弓1531-1 0282-28-6912
<http://www.isoyama-suwajinja.jp/>



大平町を予約に収める...



降

そして下山。

降参登

9分で完結する登山

ついに登頂

降

やっほー!



栃木県の「最低山」に登ってみた件。

栃木市大平町には県内最低の山があるのをご存知だろうか。「最低」と言っても悪い意味ではない。そう、高さが最も低いのだ。その山の名前は「磯山」といい、標高は驚きの約51m。そんな超マイナーとも言える山に登ればきっとナニかが見えるはず... という訳で、登山してみた。

栃木県で最も低い山

多分結構知られていない!

2019 登頂記録

わたし「と」とち介。

TOCHISUKUKE & ME

スタッフ目線でみた「とち介の魅力」

栃本市マスコットキャラクター「とち介」といっしょに活動しているスタッフ「アテンド」。
つねにとち介のとなりにいる「アテンド」は、とち介のいろんな行動をみています。
スタッフ目線で注目してみたら、大切なことがみえてきたかも…



目と目をあわせて
会話をしようとする

つぶらな瞳
…人…

栃木市のこと、
大切なおもだちのことを
考えている

あだま

伝えたいことが
あるときは
身振り手振りで
いっしょにうれい伝える

手

アテンドが
「うっかりミス」しても
ゆるしてくれる

広い
ココロ

身だしなみ
チエックのときに
念入りにきれいに行っている

おなか

おもだちの
せなかを
トントンして
励ます

手

あせらず、
マイペースで
すすむ

足



Check!

とち介のくわしいプロフィールや
活動スケジュールがわかる
「とち介の部屋」をチェック ▶▶▶▶▶

CHECK! TOCHI-NAVI Famous Member's Eyes

Q1 栃木市のお気に入りスポットは？ Q2 栃木市が魅力的だと感じる場所はどこ？ Q3 家族や友人におススメしたいことを教えて！

栃木市民「じゃない」人が語る、栃木市の魅力。
 栃木市に住んでいない人だからこそ知っている。私たちがまだまだ知らない、栃木市の魅力たち。
 今回は栃ナビ!の中でもクチコミ数・ファン数がトップクラスのユーザー6人に3つの質問!その魅力を聞いてみました。
 ※クチコミは訪問日時での情報であるため、実際と異なる場合がございます。

富士屋 本店



帽子たっぷりでもさっぱりして食べやすいです!

蕎麦さん
 ●女性 / 30代 / 壬生町
 ●来訪頻度: 週1



蕎麦中華そば 神志



気になっていた限定メニュー「青さの手打ち中華そば」

☆ゆうこ☆さん
 ●女性 / 40代 / 小山市
 ●来訪頻度: 2~3ヶ月に1回くらい

みかも山公園



アジサイ

娘が1歳の時、お散歩に行ってきた!

岡田記念館



稀少・高価な銘木が使われているという貴重な建築物

田楽 あぶてん



趣のある店内と、敷地内にある水琴窟の透き通るような音色に癒される

栃木市



ふっつ橋の北側を見ると、ナマズ像が?!



nyata-mama さん
 ●女性 / 50代以上 / 小山市
 ●来訪頻度: 週1~2回、多い時で3回



街の自然・歴史・文化を大切にしているのが伝わります。

大通りを中心になんでも揃っていて、歩きたくなる街です。

- Q1** コード市場です。市内の名産品が何でも揃い、コミュニティ放送も身近に市の活気を感じます。買い物すれば無料の広い駐車場があるのも他店舗も利用できるし便利です。
- Q2** おしゃれな街であること。古いものと新しいものが上手に混ざり合っているとします。
- Q3** 巴波川と嘉右衛門町は外せないです。季節に合わせて鯉のぼりが泳いだり、ライトアップしたり巴波川沿いを散歩するのは楽しいです。嘉右衛門町は古い建物をリノベーションしたおしゃれで美味しいお店が沢山あり、マルシェも見逃せません。


コーちゃんさん ●女性 / 30代 / 千葉県 ●来訪頻度: 2ヶ月に1、2回

蔵のあるノスタルジックな雰囲気素敵です。

カフェ なすな




Q1 たくさん好きなお店があるなかで甲乙つけたいのですが、「カフェなすな」さんが大好きです。町並みに溶け込んでいるお店。ひっそりとずっとあって、大通り沿いなのに店内は静かで落ち着く空間。スイーツやドリンクもとても美味しく一人でも誰かと一緒でもいつでもリラックスできてお気に入りです。本をもってのんびり読書に浸るのが至福の時間になります。落ち着きのあるこの町だからこそ楽しめる時間です。



店員さんも素敵な笑顔と丁寧な接客で居心地も良い

Q2 太平山という大きな山に見守られ、川や森などの自然と、蔵という昔ながらの町並みと、古い建物をリノベーションしているので、新しいものと古いものが栃木らしく融合されています。町の人だけでなく私たち観光客を楽しませてくれる懐の広さも魅力のひとつと感じています。



珈琲と紅茶の店 Salon de Cafe いかく

Q3 古くて新しい町並みと美味しい食べ物盛りだくさんで、町歩きが楽しめる。山歩きが好きな友人には太平山をおすすめしたいです!疲れて帰ってきて美味しいものを食べて帰ってほしいです。



夜の印象はお洒落なレストランのもの!!

いつるやそば店



職人さんの流れるような技を見ていたら、待ち時間も苦になりません

自然豊かな場所でリフレッシュ!

Q1 太平山が1番のお気に入りです。春は桜、夏はアジサイ、秋は紅葉、冬は見晴らしの良い景色と、四季折々の美しさを感じられます。どの季節も素敵ですが、オススメは冬の謙信平からの景観です。空気が澄んでいる朝のうちは、スカイツリーや富士山などがきれいに見えますよ!高校時代、マラソンで走り抜いた青春の思い出の場所です。

Q2 蔵の街を中心に、街中をぶらぶら散歩できるのがいいです。我が家は県庁前から巴波川沿いを散歩するのがお気に入りです。鯉にエサをあげたり、川沿いのお店や郷土館などに立ち寄りしています。観光スポットを歩いてぐるりと一回りできる手ごろな広さも、魅力の1つだと思います。(先の台風で、巴波川周辺も大きな被害を受けたと聞きました。復興を心よりお祈りしております。)

Q3 栃木市には、子連れで出かけるのにオススメなスポットがたくさんあります。みかも山公園、かかしの里、永野川緑地公園などで思いっきり遊ぶもよし、大平ぶどう団地やいわねフルーツパークで季節の味覚を堪能するもよし、つがの里やとちぎ花センターで花を愛でるもよし、色々な休日の過ごし方が楽しめますよ!

つかちゃん.さん
 ●男性 / 50代以上 / 那珂川町
 ●来訪頻度: 年4~5回

歴史と伝統を大切にする市民の皆様に敬意を表したいです。

- Q1** 巴波川沿いの遊歩道。特に、常盤橋(横山郷土館)から下流側の幸来橋(塚田歴史伝説館)にかけての光景は、いつ訪れても日常生活を忘れさせてくれる癒しの観光スポットです。
- Q2** 歴史のある建物がたくさん残っていて、しかも、それらの多くが美術館や資料館として公開されていたり、飲食店やカフェなどとして実際に使われている点が魅力的です。
- Q3** 巴波川の遊歩道とともに、嘉右衛門町重要伝統的建造物群保存地区もおススメ。見どころの中心は岡田記念館です。その後、油伝味噌でグルメ(味噌田楽盛り合わせ)を堪能するのが私の定番コースです。

wakura cafe



可愛いハートのラテアートにほっこり

eat me sandwich



厚みのある全粒粉のパンには具材たっぷり〜食べ応え有り

山車の高さ・燈びやかさは圧巻ですよ



栃木市観光協会(観光総合案内所)



街散策の際にはまずは立ち寄ってみてください


- Q1** 太平山周辺の自然です。春の訪れと共に若草色に染まり、桜が咲き山が新緑に包まれ、ツツジ・紫陽花と移り変わり、夏には南麓はぶどうが実り、秋の紅葉へと一年を通じ楽しませてくれます。更にその自然と相まう閑静な神社仏閣も何度も訪れたい場所です。
- Q2** 山や川、花木などの豊かな自然に触れ合えること。江戸・明治・大正・昭和と歴史を継ぐレトロな町並みや暮らしがどこか懐かし居心地の良さを感じます。そしてそれを守り引き継ぐために行政と民間が協力し取り組み一つ一つ結実していく様子に地元愛を感じます。
- Q3** 2年に一度の「とちぎ秋まつり」。蔵の街大通りを江戸型人形山車が巡行します。街をあげて年配の方も若者や子どもたちも揃い祭りを盛り上げ、絢爛豪華な江戸の文化を今に繋いでいます。併せて人々の温かみや人情が伝わってきます。

Check More!!!

栃木市民も。「じゃない」人も。たくさんの人が栃木市をこんな感じに楽しんでます!

栃木市のクチコミ、
 現在 **17000** 件以上!

「栃ナビ!」
 栃木市のクチコミは
 ここからチェック



20年間の思い出がある故郷。

Profile

八津 弘幸(やっひろゆき)
脚本家・漫画原作者 / 栃木市出身
『半沢直樹』や『下町ロケット』、
『ルーズヴェルトゲーム』、『陸王』、
連続テレビ小説『おちよん』(予定)
など、人気ドラマの脚本を手掛ける



私は脚本家としてドラマ・映画の脚本、漫画の原作などを書いています。子どもの頃から、ヒーローごっこ仲間や敵役までのセリフを全部ひとりで行っていました。それが今の仕事に活かされているかどうかは分かりませんが(笑)その後、漫画家になりたかったのですが絵がヘタクソで、文字なら書けると思い脚本家になりました。長い下積みを重ねて、今は様々な作品に携わらせてもらっています。皆さんに面白かったと喜んでもらった時が一番嬉しいですね。あと駆け出しの頃に大御所の女優さんが私の書いたセリフをしゃべっているのを見たときは感動しました。今後は世界中の人に見てもらえる作品をつくっていきたくと思っています。栃木市には大学1年生まで住んでいて、その後もちょくちょく戻って来てはいます。この街には20年近く住んでいたの思い出があまりすぎて順位はつけられないですが・・・夜中に三轟山に登ってハレー彗星を見ようしたり、渡良瀬川の河原で宝探しをして寛永通宝を発見したり色々なことがありましたよ。市内で一番好きな場所は、やっぱり住んでいた家とその近所です。日常の何気ない思い出がたくさんあります。今は離れた場所に住んでいますが、車で1時間ちょっとのところに、帰れる田舎があるのは幸せなことだと感じます。

伝統文化を広めるだけではなく。

栃木市は時間の流れがゆるやかで独特だし、古き良き風景も残っています。ふるさと大使として今後は、故郷の伝統文化を広めることは勿論ですが、これから後世に残せるような新しい何かも生みだせたいですね。個人的には「栃木レザー」と「巴波川の遊覧船」を舞台にした作品をつくるとか、あとアイドルのライブ誘致なんかしてみたいです(笑)街自体も合併をして昔よりも大きくなってきているので、この街に住んでいる人や、これから住もうとしている人にとって様々なチャンスが掴めるようになったら今よりもっと素敵な街になると思います。

HIROYUKI YATSU

脚本家・漫画原作者 八津 弘幸さん



ヒーローごっこ仲間から敵役まで全部ひとりで行っていた子ども時代。

栃木市は、青春時代の全てが詰まった大切な故郷です。

私は生まれてから18年間、栃木市に住んでいました。大学進学を機に上京をした後、スカウトをきっかけに、現在は女優・モデルとして活動しています。様々なお仕事を通して、共演したかった監督さんや女優さん、俳優さんと作品で一緒にさせていただける機会が増え、とても光栄で嬉しいです。また、そうした作品等から私を知ってくださった方々が送ってくださる、SNSの応援コメントやファンレターにはいつも元気をもらっています。観た人の心に残る、人生に寄り添えるような作品のひとつでも多く携わっていくのが目標です。そんな私がこの街で一番好きな場所は太平山です。麓には中高合わせて6年間通った國學院大學栃木中学校・高等学校があり、山が通学路になっていました。季節ごとに様々な景色を楽しむことができ、夜景も綺麗なので大人になった今でも行きたくります！それから高校3年間のチアリーディング部活動のひとつだった野球応援は、ブラスバンド部や野球部と共に甲子園という夢を追いかけた何にも代えられない宝物になり、その経験が今の私の趣味である甲子園観戦に繋がっています。太平山や巴波川などの自然は、今のようにずっと綺麗なまま、観光客の方や地元の人々に愛され続ける場所であって欲しいなと思います。栃木市は映画やドラマのロケ地になることが多いので、私もいつか自分の出演する作品の撮影で訪れたいです。

ふるさと大使として、もっとこの街の魅力を！

栃木市は自然が豊かですし、スーパーやコンビニも多く、病院や学校、飲食店を含め様々な施設が充実していて住みやすいと思います。それに穏やかで温かい心を持っている方々がたくさん住んでいます。この絶妙なバランスが居心地の良さを生んでいるのだと思います。それから、ゆるキャラの「とち介」が他県のキャラクターと比べて断トツで愛くるしいのも魅力です！しかし、栃木市の知名度はまだまだ高いとは言えないと思うので、多くの人に観光地や美味しいお店、良いところを知っていただき様々な人が訪れたいと思う街になるように、私自身もPRをもっとがんばります！最後になりますが、生まれ育った栃木市が大好きです！この街の出身であることは私の自慢です。地元の皆様の声援がいつも励みになっています。ふるさと大使として、女優・モデルとして更に飛躍できるようにがんばります。これからも応援よろしくをお願い致します。

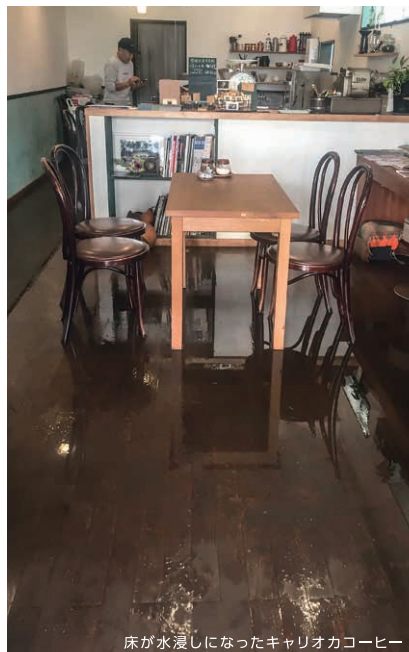


Profile 石川 恋(いしかわれん) 女優・モデル / 栃木市出身
『東京タラレバ娘』や『マスカレード・ホテル』などドラマ・映画への出演・ファッション雑誌『CanCam(小学館)』の専属モデルなど、多方面で活躍

REN ISHIKAWA 女優・モデル 石川 恋さん



「ここまで水が来たよ」と話す、イナバミュージックのご主人



床が水浸しになったキャリオカコーヒー



駅前での募金活動



中港研修館(藤岡町赤麻地区)



道具を整えてボランティアに向かう高校生たち



民家の畳の撤去を手伝う高校生ボランティア



泥が流れ込んだ玉川の湯



浸水したごうしの店

私
た
ち
「
と
」、
こ
の
街
。

あ の 日 見 た 、 私 た ち の 街 と 、 そ こ に 生 き る 人 た ち 。

まだまだ復興中の栃木市ですが、今回の取材を通して、逆境のなかでも立ち上がり、大切な風景を守っていかうとする人たちを応援したい、そんな栃木市の風景を私たちが守りたい、そう強く感じました。

それぞれの風景を生み出して創っていく。困難が発生しても、人と人が支え合いながら、一歩ずつ前も向いて進み、大好きな風景を守っていく。

私たちと栃木市。それぞれの目線で、栃木市と関わり、それぞれの風景を生み出して創っていく。困難が発生しても、人と人が支え合いながら、一歩ずつ前も向いて進み、大好きな風景を守っていく。

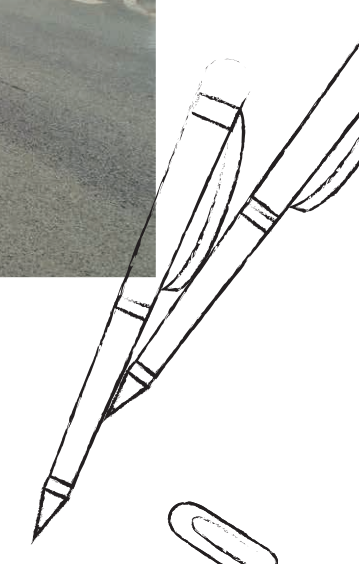
汗を流し、キャリオカさんは台風の日には常連客が駆け付け、水浸しになった店内を掃除し、イナバミュージックのご主人は「120歳までこの仕事を続けるよ」と笑顔で話してくれました。

そんな揺れる気持ちを抱えながら取材先にお伺いしていると、既に皆さん、前を向いて動き始めていました。金魚湯さんはスケボー仲間の力を借りて、泥やゴミの片付け作業に

10月12日から13日にかけて、東日本の広範囲にわたり、未曾有の豪雨を降らせた台風19号は、栃木市にも今まで経験したことのない甚大な被害をもたらしました。市内中心部を流れる巴波川では越水が起こり、永野川では堤防が決壊。広い地域が浸水してしまいました。

今回「aru」の取材をお願いしていた金魚湯さん、キャリオカさん、イナバミュージックさんなども浸水の被害に遭ってしまい、高校生蔵部のメンバーの中には、学校や自宅が被害にあった生徒もいました。お店の復旧、生活の再建の目途がつかない状況のなか、このまま取材を続けさせてもらっていいのか、私たちも迷っていました。

そんな揺れる気持ちを抱えながら取材先にお伺いしていると、既に皆さん、前を向いて動き始めていました。金魚湯さんはスケボー仲間の力を借りて、泥やゴミの片付け作業に



いろいろ“aru”、まだまだ“aru”

本編で紹介しきれなかった写真たちをご紹介します。



学校って、何気ない風景も絵になる。
カーテンの裏で、ないしょ話。



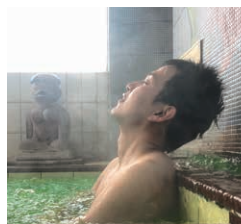
高校内のお気に入りスポット、
通称「天空の渡り廊下」。



購買に集まる高校生を見ていたら
きゅんときゃんときゃん気分。



お昼休みの撮影中に見つけたメモ書き
@男子生徒の手



撮影とはわかってるものの
つついっぴー。



湯上がりの牛乳&オレンジジュース。
レトロなボトルがかわいい。



普段通りの佇まいだけど、雨の夜は
また違った魅力。@玉川の湯(金魚湯)



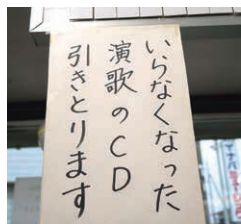
こうしんの店の焼きそば。
じゃがいもの火入れと量が絶妙!



こうしんの店近くにある鹽庚申(しおこうしん)神社。
小さな神社なのに、存在感がすごい。



「1日5杯のコーヒーで100歳まで生きる」
と、キャリアオカコーヒーのマスター。



演歌を愛するイナバミュージックのご主人。
CDは渡しても、思い出は大切に。



雨の日の遊覧船で貸してもらった
傘から空をパシャリ。

あなたも栃木市の“aru”を見つけてください。

私たちがこの冊子の取材・撮影をしました。



お気に入り写真
「OLD & NEW」

K.S / 栃木市役所 総合政策部
シティプロモーション課

栃木市の歴史を見守り続けた建物が、若い力によって新たに生まれ変わりました。行政と若者がその垣根を越えて力を合わせたとき、そこに街を活気づける「パワー」が生まれます。栃木市の至るところで、そうした「パワー」が湧き出でることで、新たな「栃木市らしさ」が醸成されると期待しています。



お気に入り写真
「通勤風景」

M.F / 栃木市役所 総合政策部
シティプロモーション課

私にとって栃木市は地元ではないですが、栃木市での生活が長くなるに連れ、何気ない風景に愛着を感じるようになりました。例えば通勤途中、藤岡大橋からの風景。渡良瀬川と雄大な遊水地が見渡せ、遠くに筑波山も望めます。季節や時間によって様々な表情を見せ、特に秋頃、朝霧に包まれた風景は幻想的です。皆さんも自分だけのお気に入りの風景を見つけてみませんか。



お気に入り写真
「teenager」

N.F / 栃木市役所 総合政策部
シティプロモーション課

今回は、市内の高校に通う皆さんにご協力頂きました。彼ら目線で見たこのまちは、彼らを取り巻くこのまちは、どんなところなのでしょう。住み続けたい?引越すけどたまに帰ってきたい?速くに住んでも、応援したい?みんな、栃木市に愛着をもったまま大人になってもらえたらいいな...そうなるよう行動するのは大人の仕事だな、と思っています。

aru vol.4

第4号でもたくさんの“aru”をご紹介します。2021年度発行予定

○この冊子に関するお問い合わせ / 栃木市 総合政策部 シティプロモーション課 〒328-8686 栃木市万町9-25 電話:0282-21-2315

○制作 / 取材・撮影: 栃木市シティプロモーション課 編集・デザイン: ヤマゼンコミュニケーションズ株式会社

○取材・撮影協力(順不同) / とちぎ高校生蔵部、栃木県立栃木翔南高等学校、Eight Cranes、BPLJ、ニューときた、玉川の湯、こうしんの店、イナバミュージック、自家焙煎 キャリアオカコーヒー、諏訪神社(真弓磯山神社)

「aruを置いてくださるところを探しています」

この冊子をお客さまの閲覧用として設置して下さるお店や銀行・美容室・医院などを探しています。一般のお客さまが多く利用される店舗・施設、1か所につき1冊をお渡しします。お気軽にご連絡ください。